

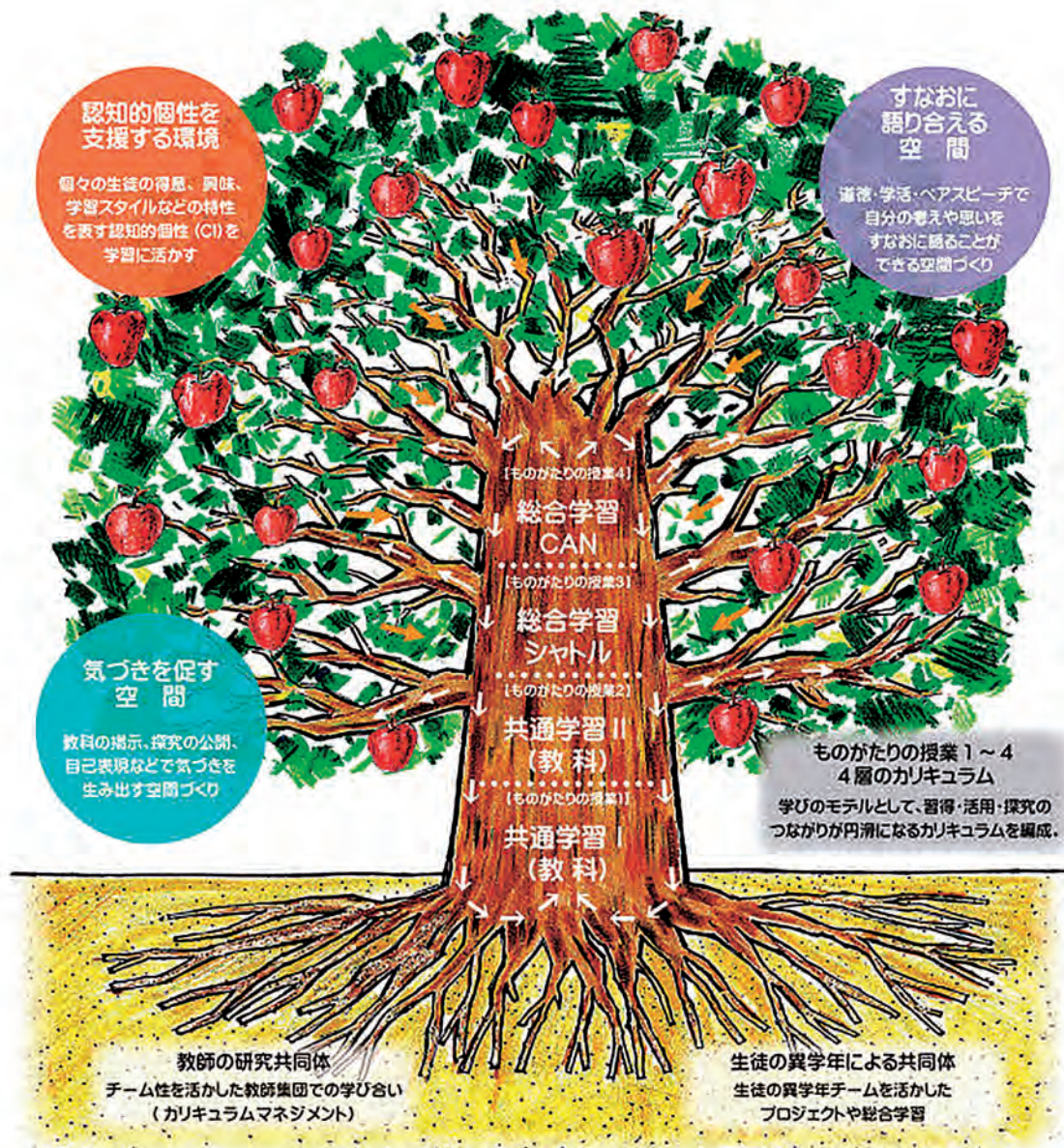
6月17日（金） 研究発表会

# 「学ぶこと」と「生きること」をつなぐ「ものがたり」

—個が響き合う共同体をめざして—

6月17日（金）、平成28年度附属坂出中学校教育研究発表会が、晴天のもと盛大に行われました。当日は、県内外の幼・小・中・高・大学および教育関係機関などより800名を超える参会者をお迎えし、本校の教育実践をご覧いただくとともに、全国にその意義と歩みを発信することができました。今回の研究では、生徒が学習の主体者となる「ものがたり」の授業によって、「学ぶこと」と「生きること」の統合を具現化する指導方法やカリキュラムについて提案しました。

## 研究構想図～個が響き合う共同体の木～



総合学習CAN



教科・学校保健



【国語】



【数学】



【音楽】



【保健体育】



【理科】



【社会】



【技術】



【家庭科】



【学校保健】

講演

東京大学大学院教育学研究科教授の秋田喜代美先生には、「学びの物語を保障する授業」という演題でご講演いただきました。生徒の学びの物語を見とり、それを活かした授業のためには、深い理解を伴う授業デザインとその実施、さらに省察を学校全体で創りだすことの大事さを当日の授業の様子を基に分かりやすくご提案いただきました。



研究大会を振り返って・・・

各教科等の研究協議会やアンケートでは、参観者の方々から本校の研究実践について多くの賛同の声が寄せられました。また、生徒たちが自らの学びを振り返って新たな気づきや問いをもとに「ものがたり」を生み出す姿にも高い評価をいただきました。これも本校生徒一人ひとりの頑張り、各校園の諸先生方、そして保護者の皆様方のご理解があつてのことと深く感謝しております。そして今大会の成果と課題も踏まえ、今後も本校の教育実践を全国に発信していきたいと思っております。